

シリーズ 社会福祉法人の力を地域に

～社会福祉法人の地域における公益的な取組を紹介～

社会福祉法が改正され、すべての社会福祉法人は、「地域における公益的な取組」を行うことが責務として規定されました。社会福祉法人の公益性・非営利性など、その本旨に従い、他の事業主体では困難な福祉ニーズへの対応が求められています。

「地域の親子が安心して集える場を」

社会福祉法人 享誠塾

取り組みの概要

社会福祉法人享誠塾が運営する「こども家庭支援センター金沢」では、地域の親子に交流の場を提供するため「子育てひろば」を開いています。月に2回、施設の保育室を開放し、自由に遊んでもらいながら、ときに相談がある場合は、心理士や保育士等が、その専門性を活かして、話を聴きます。

また、「えほんとあそぼの会」も開催し、読み聞かせグループの協力の下、親子で絵本や昔ながらのわらべ歌を楽しんでもらっています。



毎回、数組の親子が参加しています。職員は遠くから見守り、ほどよい距離感を意識しています。

参加する親子のニーズをききながら…



保護者へ書籍の貸し出しも行っています。
(えほんとあそぼの会)

この取組は、県外から転勤してきた親子をはじめ、地域で溶け込んでもらいたい、同じ年齢の親子が安心して集える場を創りたいという思いから、約10年前よりスタートしました。「にっこり子育てひろば」では、参加者の声を聞きながら、例えば事前の申込を不要にする、午後も開催する等、地域の親子が参加しやすいよう工夫を重ねています。引っ越しで金沢を離れる親子からは、「ここでの出会いがあって良かった」という声をいただくこともあります。

これからの取り組みについて

我々が開いているひろばは、アットホームな雰囲気の中で、希望があれば専門的な相談が出来るという特徴があります。また、当センターは子育て支援短期利用事業（ショートステイ・トワイライトステイ）の実施先でもあります。ひろば等の取組に加え、地域活動の拠点として、今後も地域に根差した役割を担っていきたいと思います。



右から享誠塾施設長・北川さん、こども家庭支援センター金沢センター長・松尾さん、主任相談員・東出さん

【問い合わせ】(社福) 享誠塾 こども家庭支援センター金沢 TEL076(243)8341

◇◇◇地域における公益的な取組をシリーズで発信していきます。情報をお寄せください。◇◇◇